

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第 3 8 節

vs. ジェフ千葉戦

10/25 19:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表■第 3 7 節
勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1 大宮	75p +32	62 30 H● A●
2 磐田	69p +21	61 40 AO HO
3 福岡	67p +11	47 36 A△
4 C大阪	62p +20	54 34 H● A●
5 長崎	56p +11	36 25 HO A●
6 千葉	54p +9	47 38 A●
7 東京V	54p +7	41 34 A● H●
8 愛媛	53p -1	37 38 HO
9 熊本	50p 0	38 38 AO H●
10 徳島	49p -2	32 34 A● H●
11 北九州	49p -4	48 52 A● HO
12 岡山	48p +5	37 32 A●
13 札幌	48p +1	37 36 H● AO
14 金沢	47p +4	40 36 H● A△
15 群馬	47p -13	33 46 H△ AO
16 横浜FC	44p -23	31 54 A● H●
17 水戸	40p -7	36 43 H△ AO
18 京都	40p -8	38 46 H△ A△
19 讃岐	40p -10	21 31 HO
20 岐阜	39p -26	35 61 --- ---
21 大分	35p -8	36 44 A● H●
22 栃木	33p -20	35 55 H● AO

次回HomeGame

第40節 vs. ファジアーノ岡山
11/8(日) 16:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場


本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ジェフ千葉

2014 J2 18勝14分10敗 勝ち点68: 4位

直近の対決と結果

2015/09/06 天皇杯2回戦@フクアリ
千葉 1-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ジェフ千葉
2015/10/18 J2-37節@長崎県立 長崎 2-1 岐阜	2015/10/18 J2-37節@フクアリ 千葉 2-2 大分
2015/10/10 J2-36節@西京極 京都 0-0 岐阜	2015/10/14 天皇杯3回戦@神戸ユ 神戸 1-0 千葉
2015/10/04 J2-35節@長良川 岐阜 1-2 徳島	2015/10/10 J2-36節@レベスタ 福岡 1-0 千葉

●9月のアウェイ2連戦を2連勝して長良川に戻ってきたFC岐阜だったが、またしても悔しい敗戦をホームで味わうことになってしまった。10/4(日)第35節・徳島戦は、試合終盤に先制されたがロスタイムに追いつき同点。しかし油断したのか最後のワンプレーで失点し、まさかの敗戦。同点の歓喜に沸くサポーターを一瞬で失望に突き落とす、非常に残念な結果になってしまった。続く10/10(土)第36節・アウェイでの京都戦は、惜しいシーンを何度か作りだしたものの、決定力に欠けてスコアレスドローに。そして10/18(日)第37節・アウェイ長崎戦では、試合序盤に先制したものの守備のミスから前半の内に追いつかれ、後半には逆転される。終盤には猛攻を仕掛けたものの、ここでも決定力が不足して敗戦となってしまった。この結果FC岐阜の順位は、徳島戦前には18位だったが20位にまで後退。8月・9月には順調に勝ち点を積み上げることができ順位も上昇してきたが、シーズン終盤の10月の直近3試合で勝ち点1しか得られなかったのが影響している。ただ、降格圏ギリギリの20位に順位が低下したからと、単純に悲観する順位でもないのもまた事実だ。21位(=入れ替え戦出場)の大分とは勝ち点差が4、つまり1試合での勝ち負けでは逆転しないし、22位(=J3自動降格)の栃木とは勝ち点差6(=2連敗&2連勝がないと追いつかれない)。そして勝ち点差1の勝ち点40には、水戸・京都・讃岐の3チームが並んでいる。もちろん楽観する訳にもいかないが、焦ることなく毎試合をしっかりと戦って勝ち点を(少なくとも勝ち点1を)積み上げて行くことが、これまで以上に求められるだろう。

さて、今節の対戦相手はジェフユナイテッド千葉。2009年にJ2に降格以来、常に上位争いを繰り返している強豪チームだ。前節は22位・大分を相手に苦戦したがロスタイムに同点に追いついて引き分け、今年も現在6位とプレーオフ圏内にいる。今節は、その地位を固めるためにも勝利への気持ちは相当に高いだろう。通算対戦成績は、岐阜の2勝3分6敗・7得点15失点、ホーム戦では1勝2分2敗・3得点5失点。古くからの岐阜サポには、2009年・第89回天皇杯4回戦(11/15)で千葉に勝利した試合が鮮明な記憶として残っている方も多いだろうが、しかし通算成績では、それほど勝っている訳ではない。ホーム戦では、2010年・第23節(8/22)のメドウでの試合が5年間で唯一の勝利だし、アウェイを含めても2012年・第17節(6/2)の試合以来、3年間は未勝利。今シーズンも7/4(土)第21節・アウェイ戦では1-3で敗戦している。厳しい対戦相手なのは間違いない。

千葉での最も注意すべき選手は、やはり#11 ネイツ・ペチュニクだろう。前節でも2得点を挙げ、通算13得点。この現スロベニア代表の大型FWを自由にさせないことが、岐阜の勝利への最低条件だ。守備面では、今シーズン36試合に出場し、守備の要である#20 キム・ヒョヌンが累積警告で出場停止となっており、その代役に関塚監督が誰を起用するのかが注目される。岐阜としてはこの隙を突きたいところだが、一方の岐阜も#18 富士祐樹と#41 青木翼の2選手が累積警告で出場停止。前節に出場停止だった#34 C B 渡邊将基の復帰は明るい材料だが、ラモス監督の選手起用に、そして今節その起用に応えた選手たちが期待通りの活躍をする姿を見たいところだ。特に、かつて千葉に在籍していた#19 益山司(08~11年に在籍)は、古巣相手に普段以上に燃えているはずだ。その活躍に注目したい。

今シーズンも残り5試合。両チームとも、何としても勝ち点の欲しい試合。僕らサポーターも、これまで以上に気持ちが入っていくことだろう。8月以降の戦績を見ると、アウェイ戦は4勝1分1敗と好調なのに対し、ホーム戦は1勝3敗という芳しくない結果だ。(杞憂であることを願うが)僕らの声援は、岐阜の選手たちの背中を押すべきものであって、重圧として動きを鈍らせるものであってはならないと思う。その自覚を一人一人が持って最後まで選手の後押しをすれば、必ずや選手たちは僕らの気持ちに伝えてくれるはずだ。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@hotmail.co.jp

【第35節】岐阜 1-2 徳島

●「終了の笛が鳴るまでが試合です。」あるいは、慣用句でいうところの「勝負は下駄をはくまでわからない。」まさに、それを地でいったような結末。あと一分。あと一分ガマンすれば……。これは、岐阜サポの多くがそう思ったのではないだろうか？（とか言ってしまうと語弊があるかも？少なくとも、ボクはそう思った。）逆に、徳島サポにも同じように思った人はいるんじゃないだろうか？あと二分ガマンするだけだったのに、って。でも、そのおかげで（笑）劇的なサヨナラ勝ちになったんだから、徳島サポさんにはイイ夜になったんだけどね。ジウのゴールが決まった時は正直「悪くない勝ち点1だ」と思ってしまいました。近くでは、少なくとも仲間が「まだだ！まだ、終わってないぞ！！」と叫んでいたみたいだが、すっかり浮かれていた自分。深く反省します。勝ち点を取れたと思うな。思えば負けよ。そんなに甘くはないよね、やっぱり。栃木も大分もしぶとい。気を抜ける試合など一つたりともない。今日だって気持ちが入ってない選手などはいなかった。それだけに残念だし、とても悔しい。

失点に至った細かい部分はよく見えなかった。でも、先制された場面は「ヤバイ！」という感じはした。攻め込まれたけど、マイボールにしてビルドアップが始まると思ってたら、いつのまにか徳島ボールになってて、堪えろ、堪えろと心の中で連呼したが届かず。試合後の情報で、どうやら翼のパスミスと聞いて録画を見たが、パスミスと言っているのか、どうか。サポへの挨拶では拭えどもこみあげてくる、おそらく悔し涙を浮かべていたが、彼を責める気はみじんもない。その悔しさを次節以降に見事晴らしてみせてくれ！そう願うのみだ。危ない場面もあったが、決して悪い試合じゃなかった。試合の入りはウチにしては珍しく（苦笑）よかったと思うし、前半途中からは徳島にペースを握られていたように見えたが、後半が始まって10分くらいに放たれた17番の、あわやのドライブ・シュートから流れを引き寄せ、惜しい場面もいくつか作れた。7月の金沢戦以降、そういう粘り、踏ん張りが出てきたように思う。まあ、大分戦のような試合もあるから、手放しではホメられないけれど……。

次節以降も一筋縄ではいかない相手ばかりだが、今のウチが太刀打ちできない相手ではないはず。どのみち、結果を出すしかないんだからな。厚別の呪いも解いたし、次は西京極で凱歌を挙げよう！（ぐん、）

●ホント、サッカーってのは怖いスポーツだ。一瞬で天国と地獄が入れ替わる。これまでも何度も、確か今年の4月頃にも関東の辺りで経験したような気がする（苦笑）んだけど、またしても思い知る羽目になるんだからねえ…（溜息）。「裏・天王山」大分戦に負けて、それでも再びアウェイ2連勝してホーム・長良川に帰ってきて、今度こそ順位浮上をと臨んだ試合。でも、試合終盤に自陣でボールを奪い、攻撃に転じようと選手たちが動き出すところで、（おそらく疲労から選手の動きが揃わずに）隙を突かれてボールを再奪取されての失点。その後、パワープレイをかけるけれど残り時間5分は刻々と過ぎていき、ロスタイムに突入…しかし、ここで#9ジウシーニョが値千金の同点ゴール！パワープレイでゴール前で競ったボールがこぼれてくるのを見透かしていたような位置取りから、素早くサイドネットを狙い澄ました見事なシュート、そのゴラツッソに沸き立つ岐阜サポ。…ただ、ここで僕は「このまま試合を終わらせて勝ち点1を積み上げるのか？」「あくまでも勝利・勝ち点3を目指して攻め続けるのか？」と、心の中で疑問が大きく膨れあがった事を告白しなくてはなりません。どちらかと言えば（1つでも勝ち点を積み上げたい派の）僕は前者だったんだけど、チームは…そうじゃなかったのかな？それとも、選手全員で意思統一ができてなかったのか…それなら、選手も疲労してるんだし、残っている交替カードを切って意思統一させるべきだったんじゃないか…などと、

勝負事に「たれば」は禁物なのは重々承知しているけれど、ついつい色々と考えてしまいます。それぐらい、衝撃的なラストワンプレーでの失点・敗戦でした。

でも、ぐずぐず考えても勝ち点が増える訳じゃないし、（反省点は押さえた上で）気持ちを切り替えて次の試合に向かうしかないのも事実な訳で。それに、これぐらいじゃ気持ちは折れませんよ、ちょっと不本意だけど、何年も残留争いしてきて僕ら岐阜サポは鍛えられてますから（苦笑）。今シーズンも、ポジティブに最後まで応援しますよ！（ささたく）

●帰宅してからも、ぼくの精神状態はかなり不安定だった。「怒り」ともいえるけれど、その矛先は、自分自身だった。

試合は典型的な“消耗戦”のカタチで進んでいた。後半に入って「ミスした方が負ける」と確信するほどの。そして、そのミスから失点したのは岐阜。しかし、最後に必死の攻撃を展開し、ジウシーニョの岐阜での初ゴール。その時、ぼくは自分の心の中に「勝ち点1」を作ってしまったのだ。

観戦試合数だけだったら、そこそこの数をこなしている。岐阜の試合ではないけれど、1点差で後半アッドタイムに入ってそこから同点→逆転→再同点→再逆転というすごいジェットコースターな試合の観戦経験もある。「ゲームが終わるまで、ゲームは終わらない」。そんな当たり前のことを、ジウシーニョの同点ゴールの喜びが心の中から吹き飛ばしてしまった。そのことが、悔しいのだ。ものすごく悔しいのだ。（吉田铸造）

【第36節】京都 0-0 岐阜

●難波が抜け出した瞬間にゴールを確信し、インパクトとほぼ同時に飛び上がる体勢に入っていたので、なぜネットが揺れないのか？どうして、ボールがゴールラインを割っているのか？が全く理解できなかった。京都のGKがギリギリで触ってポストに当たったのは帰宅してから録画で確認（苦笑）この試合の最高にして最大の決定機。これが決まっていたら、難波も再びゴール量産！となったかもしれない。ま、溜まったウップンは次節以降に晴らしてもらおう。

それにしても、終了間際のバンディエラのミドル。決まっていたら、間違いなくクラブ史上に残る一撃になったであろうファンタスティックなシュート。威力、スピード、弾道。いづれも文句なしに見えたが、どうだろう？決まらなかったのが不思議。難波の一撃同様、京都のGKをホメるしかないか。アレが決まっていたら、現地、TV観戦問わず、リアルタイムで見ていた岐阜サポは、全員ナダレていたであろう一撃だったね。スーパー・ゴラツッソって、あーゆーの言うんだらうな。決まっていたら話だが（笑）。決めきれないのがバンディエラのバンディエラたる所以。野垣内俊という選手の愛すべきところでもある……。ということにしておこうか。とはいえ、ついこの間までは、宇宙開発、あるいはあさっての方向にしか飛ばなかったミドルが、前節・徳島戦ではバー直撃。しかも、見事にドライブを掛けたシュート。そして、今回。いよいよ、覚醒か？次節以降も目が離せなくなってきた。そう思うのは、ボクだけだろうか？

展開としては、前半の大黒と石櫃のシュートに冷や汗をかき、後半は前述の2本に興奮。ホントにシビれた、くたびれたという試合。今回の西京極は、岐阜側ゴール裏が一番いい観戦ポイントだったんじゃないかな？ゴール裏も素晴らしい雰囲気醸し出せていたと思う。勝ち点3が欲しいのはやまやまだけど、悪くない勝ち点1だった。スコアレス・ドローだったけど、選手もベンチも終了までやり抜いてくれたと思う。本日の結果により下位との勝ち点差に変動はなし。愛媛までは残留の当確ランプ点灯。こちらの残留確定ランプはまだ遠い。残り6試合。次節は、残念ながら将基が出場停止。厳しい展開はまだまだ続く。最後までやり抜かねば。共に戦って、残留を勝ち取りましょう！！（ぐん、）

【第37節】長崎 2-1 岐阜

●セルフ・ジャッジだったなあ～、勝敗を分けたのは……。それが、試合後の感想。録画を見た今もその思いは変わらなかった。だからこそ、余計に残念さはぬぐえない。長崎県営では天気が良すぎた。日向と日陰では、天と地ほども差がある暑さ。そんなコンディションの中、運動量には定評のある長崎を、終盤はほとんど押し込んだの怒涛の攻撃。だが、一歩及ばず。リードされてからエンジン掛けてもなあ～、とも思うが、試合の流れというモノもある。リードを許しているんだから問答無用でいかねばならない。それを長崎が真正面から受けてくれたことが、こちらの攻勢が続いた理由。シュート数も長崎を上回ったが、残念なことにサッカーに判定勝ち、あるいは優勢勝ちはない。訪れた決定的なチャンスを確実に決められなかったのだから、この結果は当然の帰結。

個人的な反省をすると、この試合では久々に審判に声を出してしまった。しかし、ある意味判定にブレはなかった。ペナルティ・エリア付近での接触はほとんど守備側のファウルを取るが、逆のその後のFKからのリスタートを含めエリア内では攻撃側のファウル。双方に不満はあっただろうと思うが、終始一貫してたと言えないこともない。ただ、問題は主審の判定より先にセルフ・ジャッジをしてしまったこと。同点弾も決勝ゴールも、一瞬動きが止まったように見えた。それが残念。ゴールラインを割ったかに見えた一点め。岡根が倒されたようにも見えた二点め。もう一度同じ場面があれば、今度は笛を吹いてもらえるかもしれない。でも、そんな仮定に意味はない。笛が吹かれない以上、最後まで集中を切らしちゃいけないということだ。特に、同点弾はこちら側だっただけに、「ヤバッ、フリーだ。あ、コース開けちゃってる……、アーツ！」って感じだったよ（苦笑）。ついでに言うと、決勝点を許した場面では、岡根が倒された？（倒れた？）時、主審が片手を差し出しているのが見えて、そこでどちらかのファウルがあったのか？とってしまった。ボク自身も動きが止まったワケだ。流すんなら、両腕を前に出すと思ってたんで、つつい。ウチの選手達も勘違いしたのかな？でも、長崎の選手は動きを止めなかった。そのことについては、どうか心に刻んでほしいと、切に願います。ボクも気をつけます。

この敗戦で順位が落ちた。幸い？なことに、大分がドローで終わったため、一試合での順位の入替えはない状況で次節を迎えられる。しかし、プレーオフ圏内を争うクラブとの連戦はキツイね。千葉、愛媛、岡山で勝ち点3は欲しいんだけどなあ……。やってもらえないんだよね。（ぐん、）

10/18 の J3 順位表。（上位のみ）

★3チームとも「J2ライセンス」保有です。

自動昇格 1 山口 31 試合 73p +59 87 28

入替戦 2 町田 31 試合 67p +29 45 16

3 長野 31 試合 60p +14 36 22

●勝ち点51で4位の相模原は第3クールの“休み”を消化してないので残り4試合、全勝しても勝ち点63で入替戦ラインに届かないことが確定したので、順位表から除外しました。これで、「J2最下位の自動降格」ならびに「J2-21位とJ3-2位の入替戦開催」も確定したことになります。

J2ライセンス持ちの3チームはすべて“休み”を消化したので残り5試合。長野の最大勝ち点は75なので、山口は1勝でもすれば長野の自動昇格はなくなります。本日、山口 vs 長野の直接対決が行われます。

『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。（編集人：吉田铸造）

【ユース & U-15】

若人の活躍にも注目です

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）が参戦しているG1リーグは10/3と10/10にそれぞれ第15節帝京大可児B戦、第16節県岐商戦が有りました。それぞれ4対0、6対0で勝利しました（嬉）。これによって残り2節をのこして8位以上を確定させました。今年はプレミアリーグやプリンスリーグの順位によって昇降格がややこしい事になりそうなのですが、ほぼG1リーグに残留確定ですかね？この後G1リーグは高校サッカー選手権の県大会の為に暫くお休みになり、残りの2試合は11月下旬に開催されます。

●もう一つ。FC岐阜ユースは今年もJユースカップに参戦しました。昨年までと違い、今年是最初からトーナメント戦となりました。その初戦が10月12日（月・祝）に笠松町の岐阜フットボールセンターでFC町田ゼルビアユース（以下町田ユース）との対戦であり、観戦に行ってきました。この日は大勢の岐阜サポが応援に来場してくれました。数は少ないながらも町田サポも応援に来ており、私の目測で200～250人程度の観客が有ったと思います。

前半は一進一退の展開で、スコアレスで前半は終了しました。後半は一転町田ユースがペースを掴みます。中一日での試合となった岐阜ユースは疲れが出たのか明らかに一步目が遅くなり、セカンドボールの奪取率も後半の岐阜ユースは激減。町田ユースに攻められる時間が長くなりました。そういった劣勢の状況でも岐阜ユースの守備陣は集中を切らず事無く粘り強くボールを跳ねかえし、何度かカウンターを狙いますが、得点は出来ず。結局後半も双方無得点となり、前後半各10分ずつの延長戦もそのまま終了してPK戦になりました。

PK戦では町田ユースの2人目のキックを岐阜ユースのGK岩田君が止めてましたが、岐阜ユースの4人目・5人目が失敗して万事休す。3対4のスコアで敗戦となりました。残念、実に残念。何人かは試合終了後は泣きじゃくっていました。これまで岐阜ユースはJユースカップで勝利を挙げた事がありません。その歴史を変えられるチャンスを一番近くまで手繰り寄せましたが、又来年にチャレンジする事となりました。

●さらにもう一つ。FC岐阜の中学世代のチームであるFC岐阜U-15は岐阜県中学生サッカー選手権大会に参戦しており、その決勝が10/18に大垣市の浅中公園多目的広場にて行われました。対戦相手は今年のクラブユース選手権(U-15)の全国大会に出場したE.C.REVANTE。試合は3対1で見事FC岐阜U-15が勝利し、同大会での初優勝を達成しました！

優勝したFC岐阜U-15は10月末から予定されている高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権の東海大会に出場する事になり、岐阜県のチームとしては東海地域リーグ枠での出場が決まっている岐阜VAMOSと帝京大可児中と共に全国大会出場を目指してトーナメント戦を戦います。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！FC岐阜U-15！！（シュナ）

※試合会場・時間は岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで必ず確認して下さい。

【セカンド】『全社』の結果。

●FC岐阜Second（以下「セカンド」）は東海リーグ1部を6勝2分6敗の5位で終了。そして、10/17から岩手県で行われた『全国社会人サッカー選手権大会』に参戦しました。初戦で中国地区（今季・中国リーグ2位）「デッツォーラ島根」と対戦したセカンドは、0-0から延長戦でもゴールは生まれず、PK戦で4-5となり無念の1回戦敗退となりました。これで、今季のセカンドの公式戦はすべて終了です。選手の皆さん、お疲れ様でした。（吉田铸造）

